

平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場会社名 株式会社オウケイウェイヴ 上場取引所 名  
 コード番号 3808 URL <http://www.okwave.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)兼元 謙任  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)野崎 正徳 (TEL)03(5793)1195  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	809	115.5	△117	—	△126	—	△108	—
25年6月期第1四半期	375	0.7	△37	—	△38	—	△27	—

(注) 包括利益 26年6月期第1四半期 △107百万円(—) 25年6月期第1四半期 △30百万円(—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	△12 64	—
25年6月期第1四半期	△3 21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第1四半期	2,144	1,542	71.8	178 96
25年6月期	2,398	1,649	68.6	191 21

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 1,540百万円 25年6月期 1,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0 00	—	0 00	0 00
26年6月期	—				
26年6月期(予想)		0 00	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,884	143.5	△133	—	△133	—	△133	—	△15 45
通期	4,435	64.3	235	—	235	—	198	—	23 01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期1Q	8,611,000株	25年6月期	8,608,000株
② 期末自己株式数	26年6月期1Q	60株	25年6月期	60株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期1Q	8,607,973株	25年6月期1Q	8,602,228株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
（継続企業の前提に関する注記） .....	10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） .....	10
（セグメント情報等） .....	10
（重要な後発事象） .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 全般的概況

当第1四半期連結累計期間（平成25年7月1日～平成25年9月30日）における我が国経済は、財政政策を背景に輸出関連企業を中心に業績が好転し、雇用情勢が改善してまいりました。個人消費も緩やかに上昇し、本格的な景気回復への期待が高まっております。しかしながら、消費税の増税や保険料負担増加などの動向により、注視が必要な状況は続いております。

このような環境のもと、当社におきましては、提供中のサイトでの新機能追加やサービス刷新による満足度向上に努めました。また、各サービスの認知拡大を目的としたマーケティングにも積極的に取り組みました。加えて、連結子会社株式会社ブリックスの平成25年6月までの実績を連結したことにより、売上高は809,783千円（前年同期比115.5%増）となり、利益面につきましては、営業損失は117,040千円（前年同期37,693千円の損失）、経常損失は126,240千円（前年同期38,073千円の損失）、四半期純損失は108,838千円（前年同期27,579千円の損失）となりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	809,783	433,991	+115.5
営業損失(△)	△117,040	△79,347	—
経常損失(△)	△126,240	△88,167	—
四半期純損失(△)	△108,838	△81,258	—

## ② 事業別概況

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。また、各事業分野のセグメント利益は、全社費用175,317千円（前年同期103,118千円）を含まない額であります。

## ・ ソーシャルメディア事業の概況

ソーシャルメディア事業では、日本最大級のQ&Aサイト「OKWave（オウケイウェイヴ）」のほか、Q&Aから派生した様々なサービスを運営しています。

当第1四半期においては、昨年度に引き続きスマートフォン向けサイトの最適化に注力しました。これにより、スマートフォンでも快適にお使いいただける環境が整い、利用者数は堅調に推移しました。加えて、人気の高い「医療」「女性向け」のコンテンツを強化しました。グローバル展開としては、多言語Q&Aサイト「OKWave ありがとう（オウケイウェイヴ ありがとう）」において日本の文化を多言語で紹介するコーナー『カルチャージン』のコンテンツを拡充しました。コンテンツ強化は、各サイトの閲覧者数増加につながっております。さらに、米国の連結子会社OKWave Inc. では7月から新体制に移行し、サービス拡大に努めました。連結子会社オーケーライフのサービス「OKMusic（オウケイミュージック）」におきましても、市場環境に対応しスマートフォン向けアプリの提供を開始し、利用者数を拡大しました。

以上の結果、ソーシャルメディア事業の売上高は前年同期比増加となりましたが、利益面では、子会社の新体制への移行にかかる人員増や先行投資費用が発生したことからセグメント損失を計上し、次のとおりとなりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	161,293	41,842	+35.0
セグメント損失(△)	△13,122	△10,108	—

・エンタープライズソリューション事業の概況

エンタープライズソリューション事業では、FAQ（よくある質問）を作成、編集、公開する一連の流れを搭載した、特許技術を有するシステム「OKBiz（オウケイビズ）」など、企業向けのソリューションを提供しています。

当第1四半期においては、企業向けサービスを統合し、『OKBiz for Support Enterprise Suite（オウケイビズフォーサポートエンタープライズスイート）』としてトータル提案を開始しました。トータル提案により、新規受注ならびに既存導入企業からの追加受注が進み、売上高は堅調に推移しました。利益面に関しても、体制強化により生産性が向上し、前年同期比増益となりました。

以上の結果、エンタープライズソリューション事業の業績は、次のとおりとなりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	266,439	17,632	+7.1
セグメント利益	111,410	15,846	+16.6

・ナレッジマーケット事業の概況

ナレッジマーケット事業では、知識流通という概念で、モノのまとめサイト「myFave（マイ・フェイブ）」、知識売買サイト「High500（ハイファイブハンドレッド）」、ならびに複数の課金制モバイルサイト（※）を運営しています。

当第1四半期においては、「myFave」をリニューアルし、好みに合った商品を見つけやすい構造に変更しました。「High500」においては、著名人のオンラインセミナーをサイト上で販売するなど、新たな形式の知識売買に取り組みました。課金制モバイルサイトにおいては、テレビドラマとのタイアップをはじめとしたマーケティングが奏功し、月額会員数が増加しました。以上のことから売上高は前年同期比で124%成長しました。費用面では、新サイトの準備や追加開発にかかる費用が、売上に対し先行して発生したことによりセグメント損失を計上しております。

以上の結果、ナレッジマーケット事業の業績は、次のとおりとなりました。

（※）スマートフォンや従来型携帯電話向けに提供している課金制サイト

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	16,872	9,340	+124.0
セグメント損失(△)	△51,306	△24,181	—

・多言語CRM事業の概況

連結子会社株式会社ブリックスの主要な事業である多言語CRM事業では、24時間365日体制で運営する多言語のコンタクトセンターを運営し、カスタマーサポート業務を提供しています。

当第1四半期においては、国際送金サービスの多言語カスタマーサービスや、大手予備校向けのシステム開発ならびにシステムメンテナンスが収益に貢献しました。新たな取り組みといたしましては、当第1四半期の業績には影響していませんが、野村総合研究所と矢野経済研究所が行うASEAN進出日系企業へのアンケート調査依頼にかかる案件を受託し、前期までにすでに提供していた言語に加え、タイ語、ベトナム語など、ASEAN諸国の言語への対応を開始しております。

以上の結果、多言語CRM事業の売上、利益は順調に進捗し、次のとおりとなりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	222,699	—	—
セグメント利益	13,036	—	—

## ・営業アウトソーシング事業の概況

連結子会社株式会社ブリックスの事業である営業アウトソーシング事業では、短期・中期的に、顧客企業が必要とする販売スタッフの労働力を、業務請負及び派遣契約により提供しています。

当第1四半期においては、主力の光回線販売について、市場の縮小傾向が見られる状況のなか、NTT関連事業によるストックビジネスに注力いたしました。

以上の結果、市場環境の変化に対応し、効率運用に向けた体制構築を行ったことにより、セグメント損失を計上しておりますが、売上高は順調に進捗し、次のとおりとなりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	142,477	—	—
セグメント損失(△)	△1,740	—	—

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (ア)資産

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、主に現金及び預金の減少により2,144,746千円(前連結会計年度末比254,019千円減少)となりました。

## (イ)負債

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は、主に買掛金の減少により602,459千円(前連結会計年度末比146,846千円減少)となりました。

## (ウ)純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金の減少により1,542,286千円(前連結会計年度末比107,173千円減少)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものではありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	819,400	606,520
受取手形及び売掛金	516,407	375,382
有価証券	300,000	300,000
その他	89,857	105,396
貸倒引当金	△1,360	△1,608
流動資産合計	1,724,305	1,385,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	66,558	74,736
減価償却累計額	△36,456	△40,622
建物及び構築物（純額）	30,102	34,113
工具、器具及び備品	406,387	430,574
減価償却累計額	△321,568	△332,977
工具、器具及び備品（純額）	84,819	97,597
有形固定資産合計	114,921	131,710
無形固定資産		
ソフトウェア	211,051	195,375
ソフトウェア仮勘定	43,176	66,791
のれん	1,318	52,727
その他	14,716	14,880
無形固定資産合計	270,263	329,775
投資その他の資産		
投資有価証券	37,972	37,966
その他	315,065	356,094
貸倒引当金	△63,762	△96,491
投資その他の資産合計	289,275	297,569
固定資産合計	674,460	759,055
資産合計	2,398,765	2,144,746



(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	205,621	97,753
未払金及び未払費用	227,239	250,482
未払法人税等	2,176	3,212
短期借入金	113,610	43,698
1年内返済予定の長期借入金	13,908	10,008
賞与引当金	9,996	15,866
その他	115,058	116,820
流動負債合計	687,610	537,842
固定負債		
長期借入金	13,537	17,886
資産除去債務	32,329	32,361
その他	15,829	14,370
固定負債合計	61,695	64,617
負債合計	749,306	602,459
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	969,539	970,435
資本剰余金	939,339	940,235
利益剰余金	△261,176	△370,014
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,647,664	1,540,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	—
為替換算調整勘定	△1,762	376
その他の包括利益累計額合計	△1,757	376
新株予約権	1,531	—
少数株主持分	2,021	1,292
純資産合計	1,649,459	1,542,286
負債純資産合計	2,398,765	2,144,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	375,791	809,783
売上原価	241,259	595,572
売上総利益	134,532	214,211
販売費及び一般管理費	172,225	331,251
営業損失(△)	△37,693	△117,040
営業外収益		
受取利息	324	214
貸倒引当金戻入額	300	320
雑収入	366	77
営業外収益合計	991	612
営業外費用		
支払利息	90	547
貸倒引当金繰入額	—	8,400
為替差損	1,101	776
雑損失	178	88
営業外費用合計	1,371	9,811
経常損失(△)	△38,073	△126,240
特別利益		
新株予約権戻入益	473	1,302
特別利益合計	473	1,302
特別損失		
固定資産除却損	5,047	—
特別損失合計	5,047	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△42,647	△124,937
法人税、住民税及び事業税	635	702
法人税等調整額	△14,352	△16,072
法人税等合計	△13,716	△15,370
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△28,931	△109,567
少数株主損失(△)	△1,351	△729
四半期純損失(△)	△27,579	△108,838

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△28,931	△109,567
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△4
為替換算調整勘定	△1,976	2,138
その他の包括利益合計	△1,979	2,134
四半期包括利益	△30,910	△107,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,559	△106,704
少数株主に係る四半期包括利益	△1,351	△729

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル メディア 事業	エンター プライズ ソリューション 事業	ナレッジ マーケット 事業	多言語CRM 事業	営業アウ トソーシ ング事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	119,451	248,807	7,532	—	—	375,791	—	375,791
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	119,451	248,807	7,532	—	—	375,791	—	375,791
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△3,013	95,563	△27,125	—	—	65,424	△103,118	△37,693

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに  
帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル メディア 事業	エンター プライズ ソリューション 事業	ナレッジ マーケッ ト事業	多言語CRM 事業	営業アウ トソーシ ング事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	161,293	266,439	16,872	222,699	142,477	809,783	—	809,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	750	—	430	918	2,098	△2,098	—
計	161,293	267,189	16,872	223,129	143,395	811,881	△2,098	809,783
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△13,122	111,410	△51,306	13,036	△1,740	58,276	△175,317	△117,040

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更し、従来の「ポータル事業」及び「ソリューション事業」を「ソーシャルメディア事業」、「エンタープライズソリューション事業」及び「ナレッジマーケット事業」に再編しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ソーシャルメディア事業」セグメントにおいて、Davia, Inc. よりバースデーカレンダーなどのウェブサイト (Davia.com) 及び有料アプリなどのデジタルグリーティングカード事業を譲り受けております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては54,208千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。